

意見書第 37 号

自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書

次のとおり意見書を提出するにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条の規定により議会の議決を求めます。

令和6年(2024年)9月17日提出

提出者	枚方市議会議員	鍛冶谷	知 宏
		広 瀬	ひとみ
		野 村	生 代
		長 友	克 由
		門 川	紘 幸
		泉	大 介
		千 葉	雅 民
		藤 田	幸 久

〈提案理由〉

自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求めるため。

自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書

現在、高齢者の運転による交通事故が社会問題となっており、65歳以上の高齢ドライバーによる交通事故発生件数は、2023年では4,819件と、交通事故全体に占める割合は15.4%となっています。

また、高齢者の運転免許保有者数の推移を見ると、2019年では、75歳以上が583万人、80歳以上が229万人となっており、2009年において前者が324万人、後者が119万人であった状況と比較すると、それぞれ約1.8倍、約1.9倍となり、今後もますます高齢ドライバーが増えていくと想定されています。

こうした中、地方公共団体においては、加齢に伴う身体機能や認知機能の低下により運転に不安を感じている運転者やその家族等から相談を寄せられていた等の経緯から、高齢者の運転免許証の自主返納の取組が進められていますが、公共交通の空白地域等では、運転免許証の自主返納後の移動手段の確保が大きな課題となっています。

よって、政府は、全ての地方公共団体が、安心して高齢者の運転免許証の自主返納に係る取組を推進することができるよう、自動運転移動サービス等の社会実装に向けて、下記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 高齢者の運転免許証の自主返納の促進に伴う自動運転移動サービスの導入において、十分な予算措置や自動運転車両の利活用に向けた環境整備等を行うとともに、過疎地域を包含する地方公共団体に寄り添う形で、国の相談窓口の開設や専門家の派遣等、伴走型の支援体制を整えること。
2. あらゆるメーカーで自動運転技術の開発が進められている中、自動運転システムが主体となって車の操縦、制御等を行うレベル4以上の車両の開発促進とともに、遠隔操作システムの導入を含めた行政における利活用の仕組みの検討など、自動運転車両の実用化に向けた環境整備を加速すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

枚方市議会議長 丹 生 真 人

〈提 出 先〉

財 務 大 臣

経 済 産 業 大 臣

国 土 交 通 大 臣

意見書第 38 号

慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者への適切な対応等を求める意見書

次のとおり意見書を提出するにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条の規定により議会の議決を求めます。

令和6年(2024年)9月17日提出

提出者	枚方市議会議員	鍛冶谷 知 宏
		広 瀬 ひとみ
		野 村 生 代
		長 友 克 由
		門 川 紘 幸
		泉 大 介
		千 葉 雅 民
		藤 田 幸 久

〈提案理由〉

慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者への適切な対応等を求めるため。

慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者への適切な対応等を求める意見書

現在、慢性閉塞性肺疾患（以下「COPD」という。）は、健康日本21において対策を必要とする主要な生活習慣病に位置づけられています。COPDによって一度破壊されてしまった肺は、治療では元に戻らないため、重症化する前段階での治療開始が大切ですが、厚生労働省等のデータによると国内のCOPD患者の約500万人が未診断であると考えられており、早期診断、早期治療への取組の強化が必要です。

よって、政府は、潜在的なCOPD患者への適切な対応等を行うため、下記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. COPDを診断するスパイロメーターについて、地域の医療機関への配備を支援するとともに、臨床検査技師、保健師等に対する正確な計測のための研修を実施し、ガイドラインの周知徹底を図ること。
2. 胸部X線や胸部CT検査といった画像検査とプログラム医療機器を用いた肺の炎症状態を定量的に測定する検査法の開発及び普及を行うこと。
3. 地方自治体における受診勧奨策に対しての財政支援や、保険者努力支援制度等、COPDの重症化対策等の取組推進へのインセンティブ制度の導入を行うこと。
4. COPDの重症化や増悪を抑えるため、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種が積極的に活用されるよう検討を進めること。
5. COPD関連の厚生労働科学研究費等の研究資金の確保など、COPDの重症化や増悪を抑える新規治療薬開発のサポート体制を強化すること。
6. COPDに対する情報や知識の普及、啓発のため、かかりつけ医等の正しく豊富な知識、経験に基づく適切な指導の展開や、学校教育や企業団体における保健指導など、幅広い年齢層に対する教育や研修の推進を図ること。
7. COPDの症状などを紹介するチラシや、COPDのリスクが分かるCOPD集団スクリーニング質問票などのチェックシートの作成や配布等、COPDの認知度向上及び死亡率低下に向けた地方自治体の活動に対する財政支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

枚方市議会議長 丹 生 真 人

〈提 出 先〉

財 務 大 臣

厚生労働大臣

意見書第 39 号

持続可能な学校の実現等を目指す意見書

次のとおり意見書を提出するにつき、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 99 条の規定により議会の議決を求めます。

令和 6 年(2024年) 9 月 17 日提出

提出者	枚方市議会議員	鍛冶谷 知 宏
		広 瀬 ひとみ
		野 村 生 代
		長 友 克 由
		門 川 紘 幸
		泉 大 介
		千 葉 雅 民
		藤 田 幸 久

〈提案理由〉

持続可能な学校の実現等を求めるため。

持続可能な学校の実現等を目指す意見書

今、学校現場は、教員希望者の減少に加え、病気休職者や早期退職者の増加など、深刻な教職員不足により、子どもたちの学びに大きな支障を及ぼしています。持続可能な学校の実現のためには、教職員の勤務環境の改善、とりわけ長時間労働の是正が喫緊かつ最大の課題です。2024年4月には、猶予期間が設けられていた5業種について、労働基準法上の時間外労働の上限規制が付され、社会全体が勤務時間の適正化に向かう中、教育職員の給与特別措置法が適用される教員については、上限が守られない状態が放置されています。

こうした中、骨太方針2024では、2026年度までを集中改革期間とし、働き方改革のさらなる加速化、処遇改善、指導・運営体制の充実、育成支援を一体的に進め、2025年通常国会に教職調整額の水準や各種手当の見直しなど、同法改正案を提出するとしています。学校の働き方改革の前進を図る観点から、まずは、同方針を実現することは必要ではありますが、長時間労働の是正には不十分であり、2019年に改正された同法の附帯決議の趣旨を踏まえたさらなる施策の実施が欠かせません。

よって、国会及び政府は、持続可能な学校の実現と子どもたちの豊かな学びの保障のため、下記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 教職員の負担軽減を図る観点から、具体的業務削減策を示すこと。
2. 部活動の地域移行をさらに進めること。
3. カリキュラム・オーバーロードの状態にあることから、学習指導要領の内容の精選や、それに伴う標準授業時数の削減等を行うこと。
4. 教職員定数改善を実施するとともに、図書館司書や実験補助、ICT支援員等の人員配置・確保も含め、必要な財源確保等を行うこと。
5. 教員の命と健康が守られる法制度の整備を図ること。
6. 今後、勤務実態調査を行った上で、必要な措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

枚方市議会議長 丹 生 真 人

〈提 出 先〉

衆 議 院 議 長

参 議 院 議 長

財 務 大 臣

文 部 科 学 大 臣

意見書第 40 号

沖縄県で相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書

次のとおり意見書を提出するにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条の規定により議会の議決を求めます。

令和6年(2024年)9月17日提出

提出者	枚方市議会議員	鍛冶谷 知 宏
		広 瀬 ひとみ
		野 村 生 代
		長 友 克 由
		門 川 紘 幸
		泉 大 介
		千 葉 雅 民
		藤 田 幸 久

〈提案理由〉

沖縄県で相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件の再発防止等を求めるため。

沖縄県で相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書

2023年12月、米軍嘉手納基地所属の空軍兵が、県内に住む16歳未満の少女を車で連れ去り、性的暴行を加えたとして、わいせつ目的誘拐及び不同意性交等の罪で那覇地方検察庁から起訴されていたことが、本年6月の報道により発覚しました。

また、2023年1月から2024年5月末までに、ほかに4件の性的暴行事件が存在することが判明し、県民の怒りが広がっています。性的暴行は、人間としての尊厳をじゅうりんする極めて悪質な犯罪で、断じて許すことはできません。

沖縄県では、本土復帰後2022年度までの50年間で、米軍人・軍属等による殺人や強制性交等の凶悪犯は判明しているだけで584件、また、強制わいせつなどの風俗犯は79件にも上り、後を絶ちません。被害者や家族、関係者のプライバシー保護は最優先とすべきですが、情報提供がなければ、自治体が住民を守る対策を講じられないことから、今回、迅速な情報提供がなかったことは誠に遺憾です。

沖縄県は、我が国と米国に対し、こうした事件、事故が発生するたび、繰り返し、綱紀粛正の徹底、抜本的かつ具体的で実効性のある再発防止策を講じるよう強く求めてきましたが、これまでの対策は実効性がなかったと断じざるを得ません。

よって、政府は、下記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 被害者への謝罪及び完全な補償を行い、丁寧な精神的ケアを行うこと。
2. 米軍構成員等の綱紀粛正の徹底及び夜間外出の規制など、抜本的かつ具体的で実効性のある再発防止策を示すこと。
3. 米軍構成員等による犯罪事案については、今後、被害者等のプライバシーを守ることを第一としつつ、沖縄県及び関係市町村への迅速な通報ができるよう、日米合同委員会等において調整を行い、確実な措置を講じること。
4. 日米地位協定の身柄引渡条項を見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

枚方市議会議長 丹 生 真 人

〈提出先〉

外 務 大 臣

防 衛 大 臣

沖縄基地負担軽減担当大臣

沖縄及び北方対策担当大臣

意見書第 41 号

性暴力救援センター・大阪SACHICOの存続及び体制強化等を求める意見書

次のとおり意見書を提出するにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条の規定により議会の議決を求めます。

令和6年(2024年)9月17日提出

提出者	枚方市議会議員	野村生代
		八尾善之
		奥野美佳
		広瀬ひとみ
		堤幸子
		松岡ちひろ
		三和智之

〈提案理由〉

性暴力救援センター・大阪SACHICOの存続及び体制強化等を求めるため。

性暴力救援センター・大阪SACHICOの存続及び体制強化等を求める意見書

性暴力救援センター・大阪SACHICO（以下「SACHICO」という。）は、病院拠点型のワンストップ支援センターとして、2010年度から、阪南中央病院内において、24時間体制の下、性暴力被害者の支援を行ってきました。2010年4月から2024年3月までの電話相談件数は52,198件、来所延べ件数は14,610件、診療及び支援を行った人の実人数は3,722人に上り、府内の性暴力被害者支援の中心的な役割を果たしてきました。また、性暴力救援センター全国連絡会を設立し、本来のワンストップセンター機能を持つ病院拠点型の性暴力救援センターの全国拡充を目指したサポートを実施し、ネットワークの強化も図ってきました。

このように必要不可欠な機関でありながら、国・府からの補助金は、運営費のごく一部でしかなく、阪南中央病院が維持費の多くを負担し、不足分は寄附金等で補ってきました。医師及び看護師は、通常の病院における診察や看護の業務を行いつつ、SACHICOでの診察に当たってきましたが、これらは、善意の超過勤務によって支えられてきたものです。また、医療現場における働き方改革もあり、一民間医療機関が全てを負担することは困難な事態となっています。SACHICOは、2025年3月末をめどに阪南中央病院から撤退せざるを得ない状況にあり、このままでは、ワンストップ支援センターが府内に存在しないという事態になります。

また、SACHICOでは、支援員が被害者に常に寄り添うサポートを大切にしてきましたが、このような体制を確保し続けることも困難な状況です。こうした支援センターにおいては、緊急避妊薬の投与、証拠物の採取、医師による外傷の記録など、72時間以内の診察等が必要不可欠であり、さらに、年齢、性別を問わず性暴力被害者になり得ることから、産婦人科だけでなく、精神科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科等、総合的に診療が可能であることが望ましいことは明らかなです。

よって、大阪府は、2025年3月末で阪南中央病院から退去を求められているSACHICOの活動拠点を速やかに確保し、運営費を保証するとともに、ネットワークの要となる支援拠点の再整備を早々に行うよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

枚方市議会議長 丹 生 真 人

〈提 出 先〉

大 阪 府 知 事

意見書第 42 号

新型コロナウイルス感染症の流行に対する経済的支援等を求める意見書

次のとおり意見書を提出するにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条の規定により議会の議決を求めます。

令和6年(2024年)9月17日提出

提出者	枚方市議会議員	広瀬	ひとみ
		堤	幸子
		松岡	ちひろ
		三和	智之

〈提案理由〉

新型コロナウイルス感染症の流行に対する経済的支援等を求めるため。

新型コロナウイルス感染症の流行に対する経済的支援等を求める意見書

新型コロナウイルスについては、本年7月から8月にかけて、新株への置き換わりに伴い全国的に感染が拡大し、拡大が先行した地域の医療関係者からは、医療崩壊への懸念が示されました。

新型コロナウイルス感染症については、昨年の5類感染症への移行後も、感染拡大時には発熱外来の予約が取れなくなるなど、医療体制が逼迫する事態が発生してきました。また、現在、本年3月31日に抗ウイルス薬の自己負担軽減や診療報酬の特例に係る経過措置が全面的に打ち切られて以降、初めての感染拡大の波が訪れています。

医療体制の逼迫や医療崩壊を防ぐためには、重症患者の増大を抑えることが必要ですが、自己負担軽減の経過措置終了により、自己負担額が高いことを理由に抗ウイルス薬の処方避ける傾向が広く生じています。また、本年秋から新たな枠組みで接種が始まるワクチンの自己負担についても、非常に高額となることも懸念されています。

よって、政府は、同感染症の流行による医療体制の逼迫や医療崩壊を防ぎ、必要な医療を提供し、命と健康を守るため、下記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 同感染症の治療薬である経口抗ウイルス薬の費用については、自己負担が3割となっており、処方1回当たり3万円程度の高額な自己負担が発生することから、インフルエンザの抗ウイルス薬など、他の感染症に係る自己負担と同水準とするため、新たな公費負担制度を創設すること。
2. 高齢者や基礎疾患のある人を重症化から守るためにも、ワクチン接種は、引き続き重要な予防手段であることから、経済的負担から接種を諦めることのないよう、自己負担軽減の制度を創出すること。
3. ワクチンの有効性、安全性について、新たな知見、エビデンスも含めて情報提供を行い、国民の疑問に応えとともに、副反応についての原因究明と被害者救済に万全を期すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

枚方市議会議長 丹 生 真 人

〈提出先〉

財 務 大 臣

厚生労働大臣

感染症危機管理担当大臣

意見書第 43 号

食料自給率の向上により日本の食と農業を守ることを求める意見書

次のとおり意見書を提出するにつき、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 99 条の規定により議会の議決を求めます。

令和 6 年(2024年) 9 月 17 日提出

提出者	枚方市議会議員	広瀬	ひとみ
		堤	幸子
		松岡	ちひろ
		三和	智之

〈提案理由〉

食料自給率の向上により日本の食と農業を守ることを求めるため。

食料自給率の向上により日本の食と農業を守ることを求める意見書

我が国では、農業の持続可能性を維持することが急速に困難になっており、この10年で基幹的農業従事者が3割も減少し、令和4年度の食料自給率は、カロリーベースで38%と、主要7か国の中で最も低い水準です。また、都道府県別では、東京都が0%、大阪府が1%といった状況となっています。

こうした中、農業所得に占める政府補助の割合は、ドイツが77%、フランスが64%である一方、日本は30%と、これらの国の半分以下の状況です。急激な円安等により、物流費をはじめ、飼料、肥料、資材、燃油等の価格の高騰が、食料供給体制に重大な影響をもたらしており、国民の食料を守るためにも、価格抑制の緊急対策が必要です。

また、本年8月には、主食である米が店先から消え、流通業者や消費者に深刻な混乱と不安が広がりました。政府は需要に応じた生産の名の下、米の消費が毎年減ることを前提に生産量の削減を現場に求め、需給と価格については市場任せにしてきました。しかし、気象条件によって生産量に増減があることや、社会・経済情勢の変化によって需要と供給にギャップが生まれることは避けられることはありません。将来にわたって米の安定供給を確保するためには、価格保障や所得補償などで農家が安心して米作りに励むことができる条件を、国の責任において整えることが不可欠です。

よって、政府は、下記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 飼料、肥料、資材、燃油等の価格高騰を抑制するなどの緊急対策を実施すること。
2. 食料自給率の目標を定め、その向上を追求すること。
3. 価格保障、所得補償の充実をはじめ、農業、酪農、畜産、漁業への支援を抜本的に強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

枚方市議会議長 丹 生 真 人

〈提 出 先〉

財 務 大 臣

農 林 水 産 大 臣

経 済 産 業 大 臣

国 土 交 通 大 臣